

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成 29 年度第 2 回情報セキュリティ研究講習会運営委員会議事記録

- I. 日 時：平成 29 年 6 月 5 日（月） 16：00 ～ 18：00
II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局会議室
III. 参加者：浜委員長、入澤委員、根本委員、服部委員、峰内委員、岡部委員、西松委員、
沼委員、市川アドバイザー
（事務局）井端事務局長、野本（記）

IV. 検討事項

8 月開催予定の大学情報セキュリティ研究講習会について、開催要項の原案をもとに検討を行い、以下の内容とすることにした。なお、後日メールで意見を伺い事務局で整理して開催要項を大学に発送を行った。

(1) 開催趣旨について

今回は、サイバー攻撃に対する防御行動が組織的に展開されるようにするため、経営執行部による組織的な対応、構成員一人ひとりによる注意と行動、情報担当部門としてのベンチマークによる自己点検・評価・改善の習慣化を通じて、大学の対応力に応じた情報セキュリティ対策の考察を目指すことにした。

(2) 全体会について

テーマを「サイバー攻撃の動向とセキュリティ施策の成果」とし、「サイバー攻撃の最新動向」、「ベンチマークリスト評価結果」、「攻撃に緊急対応する専門チーム」についての情報提供を行うことにして、講師の調整を図ることにした。

(3) セキュリティインシデント分析コースについて

原案ではランサムウェア中心にしていたが限定することなく、マルウェアを用いたサイバー攻撃として考えることにした。

プログラム内容は、「マルウェア感染被害の状況把握」、「マルウェア感染時の対応手順」として、開催要項の概要説明を後日設定することにした。

(4) セキュリティ政策・運営コースについて

経営執行部による組織的な対応、構成員による注意と行動、情報担当部門によるベンチマークでの自己点検・評価・改善の習慣化、「予防」「対処」「報告・公表」の取り組みを考察することにした。

プログラム内容は、「情報セキュリティを促進するための政策」、「情報セキュリティを学内に周知徹底するための対策」として、ベンチマークの結果を通じて課題を整理し対策の検討、学内周知の対策などを討議することで具体的な取り組みを考察することにした。

(5) 総合演習

マルウェアを用いたサイバー攻撃を想定した実践的な演習ストーリーにもとづき、被害遭遇時の対処方法及び今後の課題整理を模擬演習することにした。

プログラム内容は、「技術部門と政策部門の混成チームによるサイバー攻撃への対応演習」、「規模別グループによる情報セキュリティ対策への課題解決演習」とした。

V. 次回のスケジュール

後日、6 月 19 日委員会は中止にし、個別打ち合わせで講習内容の検討を進めることとして、7 月 24 日委員会を開催して、講習資料の筋書きレベルでの確認をすることとしている。